

会 議 録

1 会議名	第 1 回 南砺市社会教育委員会
2 議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱状交付 ・ 委員長・副委員長の互選について ・ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 南砺市教育委員会の組織及び主な業務について (2) 令和 3 年度南砺市教育委員会重点施策について (3) 令和 3 年度教育委員会当初・補正予算概要について (4) 生涯学習（前期）事業内容について (5) スポーツ関係事業内容について (6) 南砺市成人式について (7) 令和 3 年度指定管理者更新について (8) 公共施設再編計画について（現在の状況） (9) 南砺市子どもの権利条例づくり事業について ・ その他 <ul style="list-style-type: none"> 「南砺・令和の教育改革」地域説明会の開催について 当面の主な行事予定について
3 開催日時	令和 3 年 6 月 28 日（月）午後 2 時 0 0 分から午後 3 時 2 0 分
4 開催場所	南砺市役所 3 階 3 0 2 会議室
5 会議出席者	<p>南砺市社会教育委員 出席 13 人/全 14 人</p> <p>委 員：武田和一、岩井透、中川昇、久恵健治、横山一乃、越山穂高、山下博美、犀川敏朗、齊藤哲也、松嶋裕治、橋本正俊、齊藤優華、秀永ゆかり</p> <p>事務局：教育長、教育委員会教育部長、生涯学習スポーツ課長、教育総務課長、こども課長、生涯学習スポーツ課生涯学習係長、生涯学習スポーツ課生涯学習係主事</p>
6 欠席者	委員：今川浩美 事務局：生涯学習スポーツ課スポーツ係長
7 傍聴者	無し
8 議事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 鶴野生涯学習スポーツ課長 ・ 委嘱状交付 あらかじめ配布してある委嘱状をもって交付 ・ 開会あいさつ 松本教育長 ・ 委員長・副委員長の互選について <ul style="list-style-type: none"> 事務局一任の意見により、委員長に武田和一氏、副委員長に岩井透氏を選任。 ・ 委員長あいさつ 武田委員長 <ul style="list-style-type: none"> 社会教育も行政も昨年からコロナ禍で不十分な内容となっていたと思う。社会教育事業を中止ありきでない

方法で皆さんのご協力もいただきながら進めていけたら良いと思っている。義務教育学校、中学部活動の問題など教育委員会も一生懸命頑張っている。南砺市の子どもより良い教育になるようご助言ご協力いただきたい。

・進行 武田委員長

・報告事項

(1) 南砺市教育委員会の組織について説明

事務局：(資料1に沿って説明)

(2) 令和3年度南砺市教育委員会重点施策について説明

事務局：(資料2に沿って説明)

(3) 令和3年度教育委員会当初・補正予算概要について

事務局：(資料3に沿って説明)

●質疑応答

委員：重点施策の中に「地域図書館と南砺福野高校・南砺平高校との連携事業の実施」とあるが、具体的な内容を知りたい。

事務局：これまで、中央図書館と南砺福光高校が連携して子どもへの読み聞かせ等を行っていたが、福光高校は今年度末で閉校となるため現在3年生しか在籍していない。そこで、新たに市内2校にも呼びかけたところ、好意的な返事をいただき、連携事業を開始していくこととなった。

委員：保育園ICT活用支援システム「コドモン」の効果、また現場の保育士の負担が増えているという話も聞くが、そのあたりについて教えてほしい。

事務局：保護者からは、園の様子が写真、コメント付きで定期的に送られてくるため、コロナ禍で外部の方が園内に入れないうちでも日頃の子どもの様子がわかって嬉しいという声や、スマホから時間を問わず出欠連絡ができ、利便性が向上したという声をいただいている。職員からも、毎日何件もかかっていた朝の電話対応がなくなったことで余裕ができたと聞いている。保育士の負担については、4月から本格導入されたばかりで、システムに慣れるまでは負担感があると思うが、若い職員が積極的に利用し、日誌や連絡帳の入力が徐々にスムーズになってきたようである。導入前の状況とも比較しながら、1年間検証していく。

委員：小学校や中学校でも「コドモン」のようなシステムの導入は検討

されているか。

事務局：同じ会社からシステムの説明は受けたが、一部の先生からは、朝の保護者からの電話連絡は非常に重要で、単に欠席というシステムを通した連絡だけでは必要な情報が得られないといった意見も出た。現在は導入するかどうかも含め検討している段階。

委員：朝の電話連絡やこちらからの電話で、親御さんの声の調子がわかったり問答をできたりと、状況を知るために電話は大切なツール。子ども的人数が多くなるとICTの導入による効率化で助かる部分もあると思うが、損なわれるものもあると思っている。

(4) 生涯学習（前期）事業内容について

事務局：(資料4に沿って説明)

(5) スポーツ関係事業内容について

事務局：(資料5、追加資料1に沿って説明)

(6) 南砺市成人式について

事務局：(資料6に沿って説明)

● 質疑応答

委員：3月の予備日の具体的な日付を教えてください。

事務局：3月13日（日）を予定している。

委員：昨年度はコロナ禍で3月の開催となり、例年の1月と比べ気温や天候も良く新成人や保護者からも好評だったかと思う。予備日の設定が難しくなると思うが、今後3月の開催はあるか。そちらのほうが良いという声はあったか。

事務局：気候が良かった、雪の心配がないという意見はもちろんあったが、1月開催は3連休の中日で、学生はもちろん働いている方も参加しやすいという話も聞いており、従来どおりの時期で開催したいと考えている。

委員長：今年のように大雪になった際の対応はどのように考えているか。

事務局：コロナや大雪等で実施が困難となることは十分考えられるので、そういった場合はなるべく早く決断し、延期等の対応をしたい。

(7) 令和3年度指定管理者更新について

事務局：(資料7に沿って説明)

(8) 公共施設再編計画について（現在の状況）

事務局：(資料8に沿って説明)

●質疑応答

委員：体育施設が非公募となった理由を教えてください。また、他の施設にも公募、非公募があるがその区別となった理由を教えてください。

事務局：南砺市の体育施設については、現在4つのスポーツクラブに指定管理をしていただいている。指定管理施設の一元管理をお願いしてきたところ、4つのクラブが共同で1つの団体をつくるという形で調整をしていただいた。本来は公募だが、今までの各スポーツクラブの取り組み等を評価した上で、今回は非公募となった。次回からは公募に戻っていくものと考えている。

文化会館は3つの指定管理者に管理をしていただいている。市の思いとしては、3つの団体が1つの団体をつくらせていただき非公募を目指していたが、調整がつかなかったため公募となった。

公募、非公募の別については、所管課が異なる施設の詳細はわからないが、公共施設再編の予定に関わっていると思われる。

委員：文化施設は調整がつかなかったとおっしゃったが、私が関わっている施設では、調整の場や市からの明確な一本化の働きかけはなかったように記憶している。その辺りが少し誤解を生んでいるのかなと思う。既に募集が始まっているところだが、考え方に差があると思い質問させてもらった。

本来は公募というところで、公募は地元だけでなく全国から広く指定管理者を募り、門戸を広げるという面で大変有効な手段。非公募にした明確な理由がないと誤解を生んでしまうので、しっかりお願いしたい。

(9) 南砺市子どもの権利条例づくり事業について

事務局：(資料9に沿って説明)

●質疑応答

委員：条例の策定となると、条例をつくるのが目的になってしまいがちだが、実行しなければ意味がない。我々も意見や協力するので、しっかりと条例策定後の体制づくり、実行をしていただきたい。

委員長：2年かけて条例の策定を行うということで大変だと思うが、皆さんの協力もあると思う、頑張ってください。

事務局：皆さまからご意見等いただきたいと思う。今後ともご協力よろしくお願いしたい。

・その他

「南砺・令和の教育改革」地域説明会の開催について

事務局：(追加資料2に沿って説明)

当面の主な行事予定について

事務局：(資料10に沿って説明)

・閉会のあいさつ

岩井副委員長

初めてご参加の方もいらっしゃると思う。本日議題となった事業は子供からお年寄りまで対象者が幅広く、予算もかかっており中身の濃いものが沢山あった。こういったものがうまくいくかどうかは、委員のみなさんが所属しておられる組織・団体をはじめ、多くの方のお力を借りながら連携協力が重要になると思う。住み続けることができる南砺市のために、今後ともご協力をお願いしたい。